第3学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名	■単元の学習内容	○単元の評価規準		□主な評価方法
4～5	表現	■歌唱	知	○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 ○著作権について理解している。	□定期考査 □ワークシート □実技テスト
		「花」「花の街」「大地讃頌」	思	旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表現しようとしている。	
		「My Voice!」「著作権」	主	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などに気付き、それらを生かした歌唱表現に粘り強く取り組んだり、創意工夫して歌おうとしている。	
6	鑑賞	■鑑賞	知	曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。	□定期考査 □ワークシート
		「ブルタバ」	思	音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、まとめることができる。	
		「ボレロ」	主	オーケストラに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、その音楽を深く味わおうとしている。	
7～10	表現	■歌唱	知	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。	□定期考査 □ワークシート □実技テスト □観察
		音楽祭 課題曲 自由曲	思	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	
		「音楽の約束」 「指揮をしてみよう」	主	仲間とともに、表情豊かに合唱し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。	
10	鑑賞	■鑑賞	知	我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。	□定期考査 □ワークシート
		能「敦盛」	思	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏の共通性や固有性について考え、まとめることができる。	
			主	日本の伝統音楽の特徴を理解し、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、その音楽を深く味わおうとしている。	
11	表現	■器楽 アルトリコーダー	知	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、アルトリコーダーで表すことができる。	□定期考査 □実技テスト
		「星に願いを」	思	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって演奏しようとしている。	
			主	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的にアルトリコーダーの学習活動に粘り強く取り組もうとしている。	
11	鑑賞	■音楽史	知	日本と西洋の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。	□定期考査 □ワークシート
		「日本の音楽史」	思	音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏の共通性や固有性について考え、まとめることができる。	
		「西洋の音楽史」	主	日本と西洋の音楽の特徴を理解し、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、その音楽を深く味わおうとしている。	
12～1	表現	■創作 ICT	知	課題や条件に沿った音符、休符の選択や組み合わせなどの技能を身に付けて、ICTを使用し創作することができる。	□ワークシート □作品発表
		「My Melody」	思	旋律、リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を持ち、ICTを使用し創作することができる。	
			主	音符や休符の組み合わせに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら創作の活動に、粘り強く取り組もうとしている。	
2～3	表現	■歌唱	知	○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。 ○社会の中には音楽に関わる仕事があることを理解することができる。	□定期考査 □ワークシート □観察
		卒業式の歌	思	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表現している。	
		「生活や社会の中の音楽」	主	仲間とともに、表情豊かに合唱し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。	